



とってまなまえのおおいネコ



ケイティ・ハーネット／作
松川真弓／やく
評論社 (2018年)

はなさきどおりのネコはまいにちおおいそがし。すんでいる人たちは、みんなちがう名前でもんでかわいがる。ある日、ネコは11ばんちのおばあさんのもとへ。



うずらかあさんとたまご



島野雫／作・絵
教育画劇 (2018年)

うずらかあさんがうんだちいさなたまご。こえだにぶつかってころころ。たまごをさがしていると、あるどうぶつにであって…。だいじなたまごはみつかるのでしょうか？

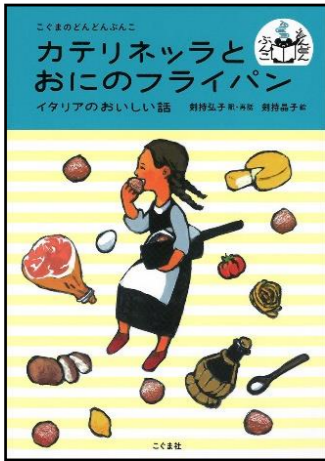


四人のヤッコ



西内ミナミ／作
はたこうしろう／画
鈴木出版 (2018年)

じぶんがもう一人いたらなあ、っておもわない？あられたもう一人のヤッコたちは、いやなことをやってくれるけれど、いっしょにあそんではくれなくて…。



カテリネッラとおにのフライパン



イタリアのおいしい話
剣持弘子／訳・再話 剣持晶子／絵
こぐま社 (2018年)

フライパンのおれいにおにのフライパンを持っていくカテリネッラ。だけど、ドーナツはとてもおいしそうで……。たべもののおはなしが4つ入ったたのしいほんです。

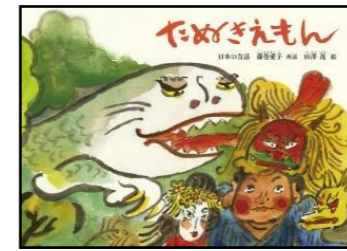


ふたごのカウボーイ



フローレンス・スロポドキン／作
ルイス・スロポドキン／絵
小宮由／訳
瑞雲舎 (2018年)

カウボーイごっこをするのがだいすきなふたごのネッドとドニー。ある日、カウボーイになりきってあそんでいたふたりは、にわからそとのみちにでていってしまい…。



たぬきえもん (日本の昔話)



藤巻愛子／再話
田澤茂／絵
福音館書店 (2016年)

やくしゃのたぬきえもんは、とうげでばけものに出会った。おたがいに“おっかねえもん”を言い合うと…。さて、ふたりの“おっかねえもん”とは何だったのでしょ。



アルバートさんと赤ちゃんアザラシ



ジュディス・カー／作・絵
三原泉／訳
徳間書店 (2017年)

アルバートさんはひとりぼっちになった赤ちゃんアザラシのために、いろいろなチャレンジをします。この本はほんとうにあったはなしからうまれました。



カタカタカタ

おばあちゃんのたからもの



リン・シャオペイ／作
宝迫典子／訳
ほるぶ出版 (2018年)

カタカタカタで、いろいろなものをつくってくれるおばあちゃん。ある日、カタカタカタがとまってしまい、なおらなくなっていました。



もぐらはすごい



アヤ井アキコ／著
川田伸一郎／監修
アリス館 (2018年)

もぐらは土の中でくらしている。なにをたべているのかな？ どうやって土をほるのかな？ もぐらのことがよくわかる本だよ。



スタンリーとちいさな火星



サイモン・ジェームズ／作
千葉茂樹／訳
あすなる書房 (2018年)

かあさんがとまりがけででかけることになったその日、スタンリーは火星へむかった。かわりにちきゅうにあらわれたのは、スタンリーそっくりの火星人で…？



きりみ



長嶋祐成／著
河出書房新社 (2018年)

ふだん、たべているさかなは、きりみでうられていることがおおいです。もとのさかなはどんなすがたか、みてみましょう。



いたずらひつじとおおかみのけがわ



ふじおけんた／作
借成社 (2018年)

ひつじのメイクは、ある日おおかみたちが、なかまのひつじたちをたべようとしているのをきいてしまいます。メイクはどうやってなかまをたすけるのかな？